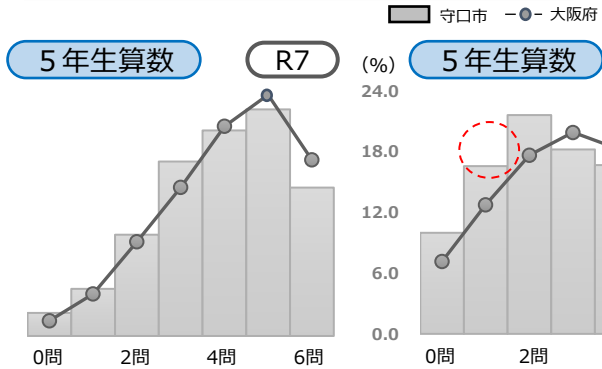


1. 調査の目的
- 子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力及び問題発見・解決能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につける。
2. 調査の対象
- 小学校及び義務教育学校前期課程 第5学年（975人参加）第6学年（908人参加）
3. 実施日
- 令和8年4月23日（木）

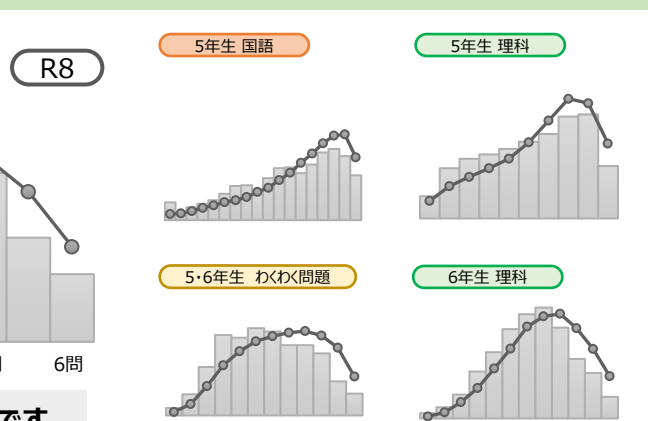
教科に関する結果		①学習内容が着実に定着しています！			差はほぼ1問以内
平均正答数		守口市 (問)	大阪府 (問)	府と市の 正答数の差 (問)	対府比
5年生	国語（17問中）	10.9	12.0	-1.1	0.91
	算数（6問中）	2.7	3.1	-0.4	0.87
	理科（11問中）	5.7	6.6	-0.9	0.86
6年生	理科（11問中）	6.3	7.0	-0.7	0.90
5・6年生	わくわく問題（9問中）	5.2	5.7	-0.5	0.91

正答数分布グラフ（横：正答数、縦：割合）

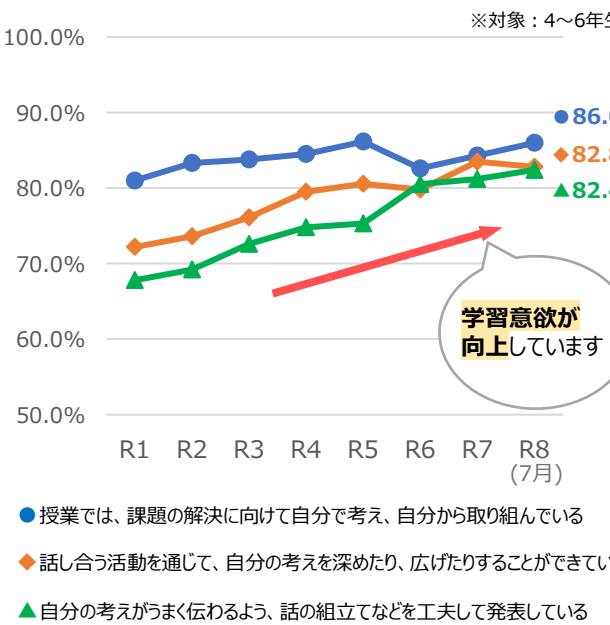


R7と比較して、算数の正答状況の改善が必要です

正答数分布の状況は大阪府とほぼ同様



市実施児童アンケート（授業に関わる項目）



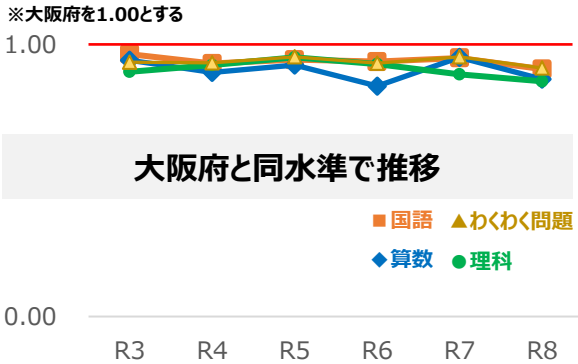
話し合う活動に関する質問に肯定的に回答している割合は、R1から16.6ポイント向上しています。工夫して発表している割合についても同様に14.6ポイント向上しています。

すべての児童が学習内容を理解できるように、今後も授業改善を続けていきます！

「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる」割合は、R1から5ポイント向上しています。今後も、授業で子どもたちが主体的にアウトプットする機会を充実させることで、学習の成果の定着につなげていきます。

4. 調査の内容
- 5年生：国語、算数、理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
6年生：理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
5. 児童への資料提供「ウォッチシート（個人票）」の記載内容
- ・アンケート結果からわかる児童一人ひとりのよいところ
・各教科とわくわく問題の解答状況から見られる、児童一人ひとりのよいところ
・各教科とわくわく問題のすべての問題について、児童一人ひとりの正答状況とそれに合わせたアドバイス

教科調査（5年生）の経年比較



大阪府と同水準で推移

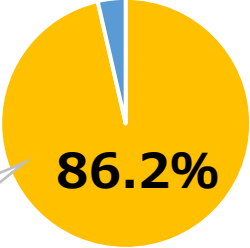
②教科担任制が進んでいます！

市実施児童アンケート（R8.7月実施）

●チーム学年担任制や教科担任制を取り入れる前と比べて、授業が分かりやすくなったと感じますか。

※対象：4～6年生

86.2%の子どもたちが肯定的な回答をしています。各教科担当の教員の専門性を生かし、今後も分かりやすい授業ができるよう、授業研究を進めていきます！



教科調査の府との比較（調査問題をピックアップ）

5年生 国語 大問8（1）

同じ意味を表している文を1つ選びましょう。
図書室から教室に重い荷物を運ぼうとしていたつむぎさんは、図書室に来ていたみなとさんに手伝ってもらいました。

- 図書室に来ていたつむぎさんは、図書室から教室に重い荷物を運ぼうとしていたみなとさんを手伝ってあげました。
- 図書室に来ていたみなとさんは、図書室から教室に重い荷物を運ぶのをつむぎさんに手伝ってもらいました。
- 図書室に来ていたみなとさんは、図書室から教室に重い荷物を運ぼうとしていたつむぎさんを手伝ってあげました。

よくできています！
正答率（%）
市：73.5
府：74.6

5年生 算数 大問2（1）

□（牛の数）と△（1日に集められる牛乳の量）の関係を式に表しましょう。

牛の数（頭）	1	2	3	...
1日に集められる牛乳の量（L）	30	60	90	...

$30 \times \square = \triangle$

課題が見られます
正答率（%）
市：25.5
府：40.3

5・6年生 理科 大問1（4）

（ア）・（イ）にあてはまる言葉を選びましょう。また（イ）のすがたの水を何というか書きましょう。

やかんに（ア 液体）の水を入れて熱すると、ふつととして（イ 気体・水蒸気）になります。（イ）は温度が下がると（ア）にもどるんですね。

復習が必要です
正答率（%）
6年 市：21.4
府：30.4
5年 市：30.5
府：34.8

5・6年生 わくわく問題 大問3（3）

あなたなら、紹介したい本のテーマに興味をもってもらえるように、どのようなパネルを作りますか。例を参考に【条件】に合わせてかきましょう。

- 【条件】
- 紹介したい本のテーマ（長編物語、夏の生き物、図画工作、料理）を1つ選びましょう。
 - 【パネル】のらんに、紹介したい本のテーマについて、**・テーマがわかりやすく伝える**・**短い言葉で興味をもってもらえる**キャッチコピーを書きましょう。
 - 【工夫】のらんに、キャッチコピーにどのような工夫をしたのか、文章で具体的に書きましょう。

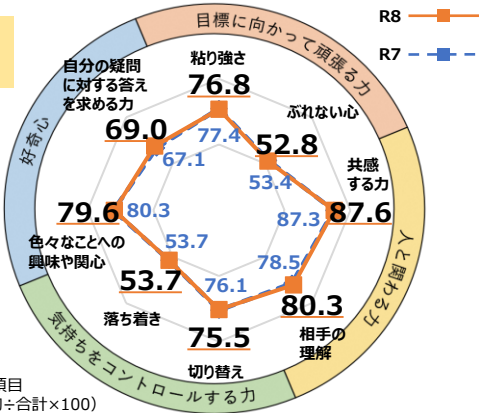
アウトプットの積み上げの成果が見られます！

正答率（%）
6年 市：57.5
5年 市：38.5
府：62.0
府：50.2



未来に向かう力と好奇心について（6年生[同一集団]経年比較）

子どもの将来には、テスト等で測ることのできる「学力」の他に、非認知能力が大きく関わっています。
大阪府では、これからの予測困難な社会を生き抜くために必要な、「①目標に向かって頑張る力」「②気持ちをコントロールする力」「③人と関わる力」の3つを「未来に向かう力」と定義しています。
児童アンケートの結果から、人と関わる力の「共感する力」や「相手の理解」の項目は、80ポイントを超える肯定的回答があり、「自分の疑問に対する答えを求める力」の項目も含め、昨年度よりもさらに伸びが見られます。
守口市の子どもたちは、仲間と関わり合いながら、自分の疑問や課題に対して前向きに取り組む力があると言えます。これは、子どもたちが安心して「自分らしさ」を表現し、仲間とともに学びあえる丁寧な学級づくり・授業づくりの大きな成果と考えられます。
一人ひとりの子どもが個性を発揮し、その力をさらに伸ばしていけるよう、これからも子どもたちの挑戦を支えていきたいと思います。

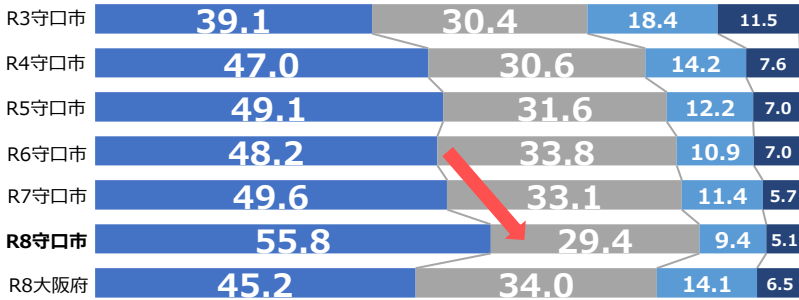


児童アンケート（5・6年生）R3～R8までの経年比較

④学びの土台となる「好奇心」が向上しています！

わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネット等で調べている

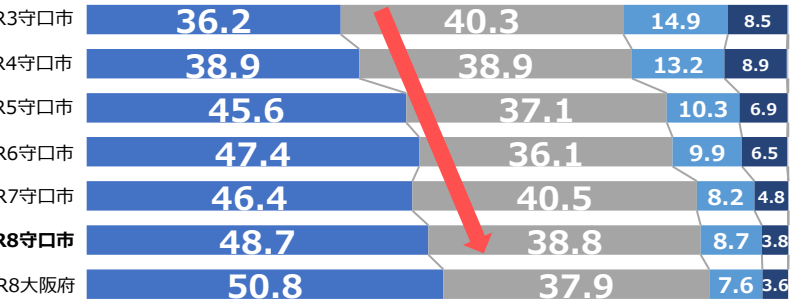
■ 1. あてはまる ■ 2. どちらかといえば、あてはまる ■ 3. どちらかといえば、あてはまらない ■ 4. あてはまらない



⑤自己肯定感がますます高まっています！

「自分にはよいところがある」と思う

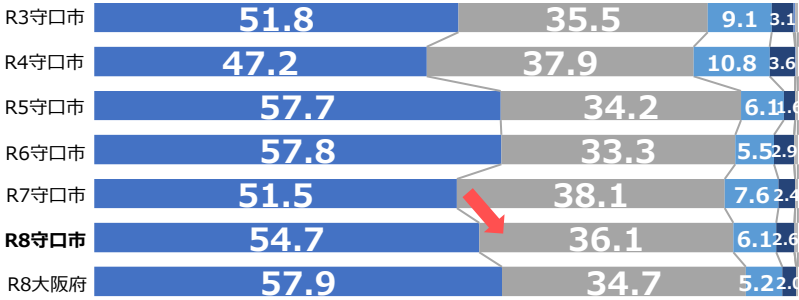
■ 1. あてはまる ■ 2. どちらかといえば、あてはまる ■ 3. どちらかといえば、あてはまらない ■ 4. あてはまらない



✓ 今後も安心して過ごせる学校づくりをめざします！

先生は、あなたのよいところを認めている

■ 1. あてはまる ■ 2. どちらかといえば、あてはまる ■ 3. どちらかといえば、あてはまらない ■ 4. あてはまらない



③人と関わる力（共感する力・相手の理解）がさらに伸びています！

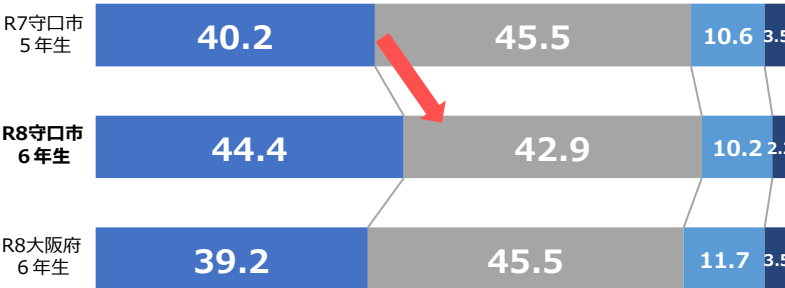
児童アンケート（6年生）の同一集団による経年比較

授業で特に大切にしたい次の3つの項目で、肯定的に回答している児童ほど、教科調査の平均正答率が高い傾向です

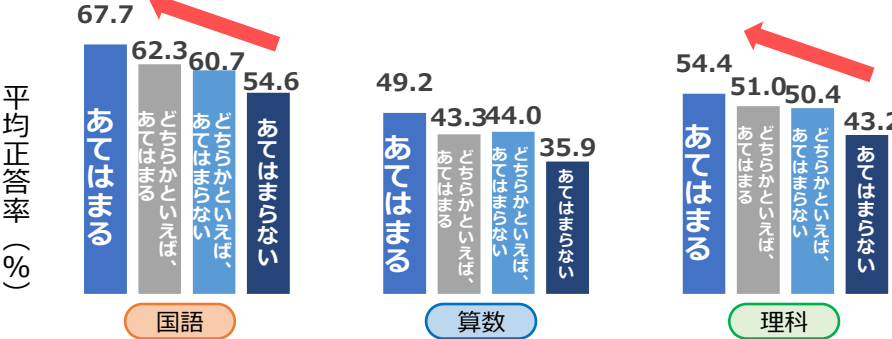
⑥その時間のめあてを、より意識して学習できています！

その時間のめあてを意識して学習している

■ 1. あてはまる ■ 2. どちらかといえば、あてはまる ■ 3. どちらかといえば、あてはまらない ■ 4. あてはまらない



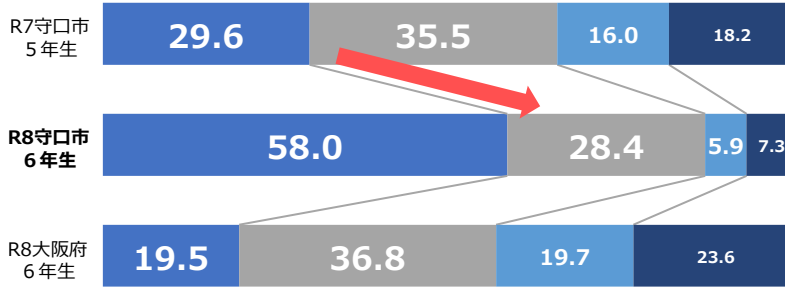
その時間のめあてを意識して学習している



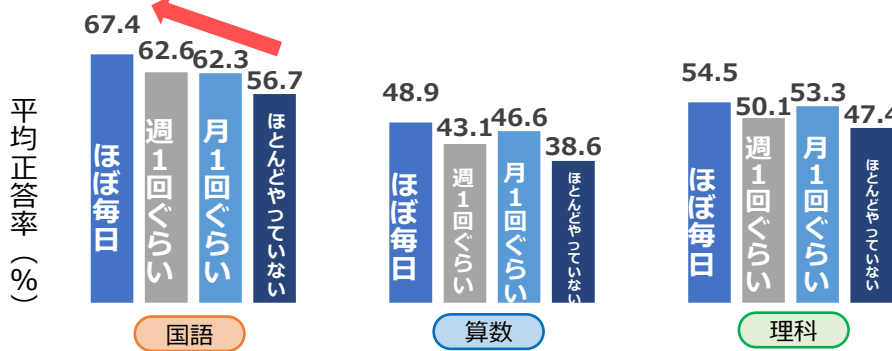
⑦自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりする機会が、より一層充実してきています！

授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか

■ 1. ほぼ毎日 ■ 2. 週1回くらい ■ 3. 月1回くらい ■ 4. ほとんどやっていない



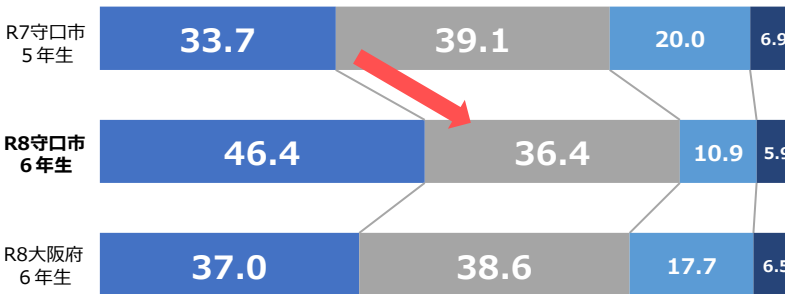
授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか



⑧自分の学習をふり返ることを大切にした授業づくりが進んでいます！

その時間に学んだことについて、ふり返りをしている

■ 1. あてはまる ■ 2. どちらかといえば、あてはまる ■ 3. どちらかといえば、あてはまらない ■ 4. あてはまらない



その時間に学んだことについて、ふり返りをしている

